

群馬大学の学生・海外学生と市長の

まちづくりミーティング

問い合わせ＝特命推進室特命担当（☎内線576）



まちづくりミーティングとは

“共感”・“共創”が実感できるまちづくりを進めるため、開催テーマに対して招集した皆さんと市長が直接意見交換をしながら、一緒に地域課題の解決や新たな取り組みなどを創造していくことを目的とした会議です。

開催テーマ

多文化共生・共創社会の実現に向けた 環境整備と魅力発信

期日＝9月29日（水）
時間＝午後3時から4時まで
場所＝正庁3

桐生市からの依頼
群馬大学の学生に考えてほしいこと



- ・多文化共生社会に向けた環境整備
- ・外国人材による桐生市の魅力発信

群馬大学国際センター公認学生団体「^ルポ^ン」の学生たちから、桐生に住む外国人の困りごとを解決し、また企業との外国人材のマッチング、海外へのデジタルプロモーションなどを多言語で展開する、「多文化共創プラットフォーム」の構築を企画立案してもらいました。このプラットフォームは、スマートフォンやパソコンで使うことができるようになるということです。

今後、市では群馬大学や海外学生などと連携し、多文化共生・共創社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



桐生市長 荒木恵司

まちづくりミーティングで、学生から出た意見



相原さん（群馬大学学生）

私たちは、桐生市からの依頼に対して「多文化共創プラットフォーム」を提案しました。桐生市が誰にとっても快適なまちとなるためには、外国人の言語の問題を解決することが必要だと考えています。

このプラットフォームにより言語の問題を解決するとともに、私たち群馬大学の学生のほか、協定校の海外学生や桐生に住む外国人と一緒に、桐生市の魅力を発見し、全国・海外に発信することで、より桐生市を活気のあるまちにしたいです。

日本人と外国人では言語や文化、生活のルールが異なるので、桐生市に住む外国人はギャップを感じていると思います。このプラットフォームの構築により、外国人と日本人、外国人同士のコミュニケーションを深めることで、ギャップを少なくできると思います。

私は、日本語、英語、中国語を話すことができるので、その3言語を用いて、桐生市のことを海外に知ってもらうための情報発信に協力したいです。また、この取り組みに参加することで、台湾のことも桐生の人に知ってもらいたいです。



陸さん（群馬大学留学生）

他国の文化をイタリアに紹介することが、私の幼い頃からの夢でした。この取り組みに参加することで桐生市のことをもっと知り、まちの様子や文化などの視覚的なイメージが伝えられるよう、イタリアのフィレンツェから発信したいです。



サンディさん（海外学生）



北郷さん（群馬大学学生）

桐生市には日本遺産の構成文化財である白瀧神社を含め、さまざまな神社や寺院があるので、ストーリーを持たせながら、それらを巡るツアーの企画を考えたいです。

また、古民家をカフェやうどん屋などにリノベーションしたおしゃれな建造物が多数見られ“レトロモダン”というイメージがあるので、グルメスポットの取材も行いながら、歴史的背景を交えた記事を作成し、桐生市の魅力を発信したいです。